

地域で見守る子育て! 子育て!

愛着とは?

愛着とは、赤ちゃんと特定の人との間に形成される愛情の絆です。赤ちゃんは自分の欲求に応じてくれた人を特定の人として選び、愛着を形成します。ほとんどの場合、相手は母親です。

愛着が形成されるまでには5~6か月の期間が必要で、生後6~8か月ごろに成立します。同時に赤ちゃんは母親以外の人に人見知りをはじめます。

この愛着形成の成立によって、母親を「安全基地」として行動範囲を広げていき、「ハイハイ」など探索行動が始まります。そして、少しずつ他の人も不安なく受け入れることができるようになり、さまざまな人とコミュニケーションを求めはじめます。

愛着が形成されることは、赤ちゃんの心の発達が順調であることの証しです。

愛着形成を促していく具体的な関わりの例

1歳ごろまで

授乳時やオムツの交換時などの生活の中で、視線を合わせたり、ほほえみかけたり、語りかけたりする。

子どもの表情や反応を見ながらやさしく抱っこ、ふれあい遊び、あかちゃん体操、マッサージなど

1歳以降

こどもの言葉にじっくり耳を傾けて受け止め、こたえる、子どものよいところを見つける。

絵本の読み聞かせ、ふれあい遊び、言葉遊びなど

子どもたちの育ちを、地域で見守っていきましょう。

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871



コラム

認知症とこれから

今月のテーマ

「わたしの介護体験記②」

今月は、認知症の介護をされたKさんの対応のコツを紹介します。

『お金がない』

認知症になり、置き忘れやなくしもが増えた義母。お金の管理には不安が強く、なくなると困るので隠しておくのですが、隠した場所を忘れて探し回ります。

「お金がない。」と言うときは息子である私の主人が対応しました。親子関係がよく、母は息子を信頼していたので、息子がお金を見つけると安心しました。対応する人を変えた方が落ち着くことがあります。ちょっとした不安から被害妄想に発展することもあるので、私は母の物が置いてある部屋には、極力入らないようにしていました。

認知症の母に金銭管理を任せるのが困難になったので、息子が管理することになりましたが、すべて取り上げてしまうと不安が増すので、少額を渡して管理してもらうことは続けました。

『デイサービスに行きたくない』

最初はデイサービスに行くのを嫌がりました。私たち夫婦は仕事をしていたので、日中ひとりにしておくのは心配でした。ヘルパーさんをお願いしましたが、うまくいきませんでした。何度も繰り返し「1度行って、嫌だったらいつでもやめていいんだよ。」と言いました。何度も何度も。市内を走るデいの送迎車を見たり「近所の人も行っているよ。」などと話題にして気を向けるようにしました。だいぶかかりましたが、おだて、なだめて初めて行ってもらった日の夕方、帰って来たときのえびず顔は忘れられません。

以来、心待ちにして喜びました。嫌だと言っても繰り返し誘い「やめてもいいよ。」と言ったので、その気になったのかもしれない。私は義母がデイに行っている間、タンズにしまわれた山のような汚れ物をせっせと洗濯しました。

介護サービスを使うことで、介護をさぼっていると思われないか、どう見られるのかと迷う気持ちもありましたが、入浴やリハビリなどのケアは、家族では十分できないこともあります。プロにお任せすることで、私たちは家庭での介護に集中できました。

ご近所や親せき、きょうだいに伝えておくことも大切だと思います。ちょっとした気づきや声かけで助かることもあります。私は『認知症家族の会』で情報交換をしたり、アドバイスをもらったことが、日々の介護に役立ちました。辛さや愚痴も、介護の仲間になら吐き出せます。介護中の皆さんも、抱え込まず、吐き出す場を作ってくださいね。

認知症についての相談、認知症家族の会に関する問合せはコチラへ

高浜市地域包括支援センター
(いきいき広場2階) ☎52-9610